

## 《 2021年度協議会 》 始まりました！



事業所連絡会、運営委員会、各部会が始まり、協議会だよりも今年度最初のおたよりとなります。

さて、コロナ対策では、ワクチン接種が始まりました。障害をお持ちの方へは正しい情報が届いているのでしょうか。面倒くさい、よく分からないから接種しないとの声もお聞きます。地域の中では、このようにワクチン接種をどうしたらいいかと悩んでいる方がいます。丁寧な説明を行ったうえで、その方の自己決定を尊重したいと思いますが、サポートする側の、まずは「ほっとけない」の気持ちを行動に示していけたらと思います。

ところで、私たちの身の回りで起きている出来事の中に、最近やっと注目されてきた、ヤングケアラー（病気の家族の介護や世話をする18歳未満の子ども）の問題があります。家族支援の中には、ケアをする子ども自身の心の状態をいち早くキャッチすることも、重要になってきます。

このことに限らず、地域の課題は自立支援協議会の構成メンバーでもある、地域の民生児童委員や家族会、当事者の方からのSOSや発信が大きな力になってくるものと思われまます。関心を一步地域に向け、そして耳を傾け、早期に発見し早期に協議会で取り上げる仕組みづくりが、結果的には誰もが暮らしやすい地域になっていくものと思われまます。

運営委員会の構成メンバーの検討から自立支援協議会そのものの役割をより明確にし、より良い地域づくりが協議会の中で協議されるよう、リモート形式や対面形式のそれぞれの良いところを取り入れながら、今年度も取り組んでまいりたいと思います。



## 2021年5～6月に行われた事業所連絡会等の報告

### 第1回事業所連絡会 （令和3年5月18日）

#### 【報告】

- ・現会長に代わり、副会長の坂城町伊達課長に会長代行をお願いする形で実施。
- ・(千曲市)障害福祉計画はアンケート等の協力により3月に完成した。坂城町と足並みそろえた計画となる。4月に篠ノ井橋病院で発生したコロナ対応を事務局で協議し、デイケアのフォローと物資の援助を協議会名でお伝えした。個々のケースは各部門で対応、物資は医療機関間で対応できたと報告を受けている。
- ・令和3年4月より、報酬改定があるため、相談支援事業所に相談支援部分の説明を行った。地域支援拠点の届け出をすることで、加算となるため、是非届け出を。
- ・(坂城町)障害者福祉計画、障害児福祉計画、障害者計画を策定し、送付まで完了した。必要の人に必要な支援ができるよう、計画などの進捗状況を検証していく。

## 第1回 事業所連絡会 (続き)

### 【協議事項】

#### ①新型コロナウイルス感染対策等への現在の事業所の取組について共有。

##### ○入所施設

面会・外泊なし。通所制限しないが、新たな受け入れをせず。他事業所へ行くことは停止。レベルに合わせて行う。

##### ○ショートステイ事業所

緊急のみ。関係者のみ。

##### ○居宅

ヘルパーが検温・体温チェック徹底し訪問。コロナ禍で来ないで欲しいと希望する方もいる。体調不良の方には防護服着用で対応。

#### ②事業所連絡会のあり方そのものを検討。

- ・意見を集約して運営委員会にあげるなど、課題分析が会の役割と認識(2)
- ・各部会の報告確認も含み、情報共有の場と捉える(3)
- ・事業所連絡会の目的(どのようなかわりなのか)が明確でない、わからない(2)
- ・もっと意見を出しやすいように、課題に対し(グループワーク的)小規模対応が必要では。
- ・参加が促されるよう、有意義な会でありたい・・・等の意見をいただいた。

⇒一番は地域づくり、誰もが安心して暮らせる環境にするためのシステムづくりが重要ではないだろうか。

## 第1回 運営委員会 (令和3年6月15日)



### 【報告】

・行政より・・・事業所連絡会で述べられている内容と同様。

・事務局より・・・①事業所ガイドブックについては市と町とで話し合い、今後は在庫をみながら作成する。したがって最新版は黄緑色のものとなる。新規事業所に作成をお願いし、基幹ホームページから取得できるよう準備する。

②長野県自立支援協議会 権利擁護部会は、昨年に引き、年4回開催。運営委員会、事業所連絡会、各部会で報告する。障がい者虐待防止の運営基準が見直しとなる。今年度は従業者への研修実施、虐待防止の責任者の設置が各法人・事業所で努力義務となり、R4年度からは義務化される。

### 【協議事項】

**千曲・坂城地域自立支援協議会の体制について。今、なぜ体制見直しなのか。**

R元年度第2回運営委員会で、事務局より『新規事業所が増えるなか、運営委員の選定基準を設けることが必要なのでは』と提案。

R元年度 第4回運営委員会で継続審議となるも、コロナで集合会議できず現在に至る。

R4年度に向けてよりよい組織の再構築の検討をお願いしたい。全体の組織図案と構成メンバー等資料を用いて説明。

↓

### (再編成 案)

・事業所連絡会を『地域調整会議』に改名。地域の方、当事者の方も入ったほうがいいのではという意見から。

↓

### (その他の意見)

・地域課題の協議の場だが議論の進め方がわからない。焦点がわからない。

・運営委員は枠を決めて該当事業所へ依頼する(今まで選定不明瞭だった)

・運営委員・家族会は千曲市・坂城町で1名とする場合、どちらがでいいのか疑問。

・千曲と坂城の家族会の連絡は日常はないのが実態だが、これを機に連絡取る体制にする追及も必要。

・今の運営委員会の方にも積極的に各専門部会に参加してもらいたい。

・当事者の部分、地域調整会議、各部会の連携調整部分がしっかりしてくると良い。

・部会を重視しており、良い案だと思う。

⇒情報共有のやりとりが重要な役割という意見がある。別の組織体系の中でそれが可能かどうかを、今回の意見を踏まえ事務局で再度練り直したい。

# 2021年5～6月に行われた部会の報告



★☆☆ ZOOMによるWeb会議形式で行いました。☆☆★

今回の報告から、各部長さんの協力を得て部会報告をさせていただきたいと思います。

## 【 こども部会 】

先月12日のオンラインでの定例会を皮切りに今年度の活動をスタートしました。今年度も、奇数月の隔月開催で原則第2水曜日に実施を予定しています。

第1回目は、新たな部会員もいて自己紹介に時間を費やした中、第2期障害児福祉計画の成果目標達成に向けて情報収集と課題検討を行いました。

部会では、障害児福祉計画についての検討の他に、「医療的ケア児の協議の場設置について」「相談支援部会から挙げられた地域課題の検討について」「研修会(勉強会)について」の検討を進めていく予定です。

## 【 相談支援部会 】

5月25日(火)に第1回相談支援部会をWeb会議で行いました。協議事項として「相談支援事業所の在り方」「コロナ禍等非常時の対応について」「法報酬改定について」の課題等を情報共有し意見交換をいたしました。

相談支援部会では2カ月ごとの定例会とし、会員同士が連携を図りながら地域の課題に取り組んでいきたいと考えております。

## 【 生活支援部会 】

コロナ禍の今、他のホームは感染防止対策どうしてる？入居者さんの外出や余暇支援はできてるの？って気になりませんか。

千曲坂城地域の課題に目を向ければ、グループホームやショートステイ先の多様化・緊急受入れについて・現場で働ける人材確保…等々、一つの事業所、一つの法人ではどうにもならないことがたくさん。

コロナ禍だから知りたい情報、この地域として取り組むべき内容、一緒に情報共有し、考えましょう。そのために、まずは部会に参加するその一歩から！

## 【 就労部会 】

令和3年度就労部会部会長を務めることになりました、しょう×ちくまの西山です。障がいのある方の働きたい気持ちや地域とのつながりを大切にし、活動を進めていきたいと思っています。

先日、開催されました第1回目の部会では、就労アセスメント、令和3年度の報酬改定、地域の課題確認の3点を中心に話し合いが行われ、多くの方にご参加いただきました。今年度もWebでの開催が中心となりますが、圏域全体で課題解決に向けて検討、実践していきたいと思っています。

## 【 こころ支援部会 】

皆さんこんにちは。こころ支援部会です。精神を患う方は増加しており、近年では脳卒中や糖尿病を上回り、とても身近な疾患です。国では「誰もが安心して自分らしい暮らしができるように」と地域包括ケアシステムの構築を唱っています。先に進んでいる「高齢者向け」よりも住まい・就労・教育など多岐にわたる作業になります。

是非、各部会の皆様のお知恵も拝借していきたいと考えています。

どうぞよろしく願いいたします。

## 【 さんさんネット部会 】

さんさんネットの活動は、各事業所の行事などに他の事業所の仲間が参加し、楽しい時間を過ごすことを目的としています。コロナ禍の今、集まるという事が出来ず残念です。

今年度新企画として、合同作品展を検討しています。個人の作品と合同作品を提示して一般の方にも見ていただけたらと思っています。

部会長さん、ありがとうございました！！



## 当事者さんのリアル ～Tさんのおはなし～

今回から当事者さんの紹介をしたいと思います。

Tさん（30代）。基幹センターの相談員と面談をして間もない方です。小学生の6年間にじめにあいながらも登校していました。中学では教室に入れなくなり登校が難しくなりました。精神科に通院しながら高校にも行きましたが3年目で退学しました。まだ不安は強く、波があります。今まで家で過ごし、習字や絵手紙を趣味としている笑顔の素敵な女性です。

「将来は働けるといいな」ということで、就労事業所のお話をしたところ、「見学したいです」と言われました。次の回では相談員と一緒に事業所を見学することができました。

見学が終わってから、今回なぜやってみようと思われたのですか？と質問しました。「しんせきの方が、急病で亡くなり、命はいつまでもあるわけではないんだな...命は大切にしないといけないな...と思いました。そのことがきっかけで、自分で自分を傷つけるのをきっぱりやめました・・・  
わたしはまだ波はありますが、お薬を飲んで生活リズムが崩れないようにしながら気を付けて生活しています。これから少しずつやっていきたいです。」

Tさんは自分で言われているとおり、一つずつ段階をふんで進んでいます。次の行動に移すまでに、何度も面談をする方はたくさんいます。

**進むペースは、お一人お一人違うのです。**

Tさんは**今が進む時だと自覚**し行動されている印象を受けます。ゆっくりと落ち着いて話すTさんからは、意志の強さが感じられました。

7月には、見学した事業所で体験をする予定です。  
Tさん、焦らず、一步一步取り組んでいけるといいですね！



Tさんの絵

### ○今後の協議会関係の予定

7/13	13:30	相談部会
7/14	10:00	こども部会
7/19	14:00	こころ部会
7/20	13:30	さんさんネット部会
7/21	14:00	就労部会
7/27	10:00	生活部会

### 千曲・坂城障がい者(児)基幹相談支援センター ～新職員紹介～

4月から基幹相談支援センターでお世話になってます中澤と申します。まだまだ皆さんから教えていただくことばかりですが、障がいのある方が地域の中で自分らしく生活することができる支援体制の整備に向けて皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っています。協議会では、こころ支援部会とさんさんネット部会を担当します。よろしくお願いします。

事務局発行：千曲・坂城障がい者(児)基幹相談支援センター TEL：026-275-0548 FAX：214-3013

HPIはこちら⇒ [cs-soudan.jimdofree.com](http://cs-soudan.jimdofree.com)

Mail：[cs-soudan@bh.wakwak.com](mailto:cs-soudan@bh.wakwak.com)

